

事務事業名	中学校運営事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名 飛田 博志
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	堀江 亮次	電話番号:0854-40-1072 (内線) 2282
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈079〉学校の施設・設備の充実		予 算 科 目	0:1:5:0	大 事 業 名 01中学校運営事業 03中学校教育振興総務管理事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習しやすい環境で学ぶ。			中 事 業 名 各中学校管理事業 中学校教育振興総務管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
生徒 教職員	生徒に快適で良質な教育環境を提供する。 学校経営の健全化を図り、効率的な事務を執行する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	中学校の運営事務を行う (光熱水費・事務用機器等リース料は含まない。)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) ・支払事務を行う(学校事務) 各中学校の運営費(備品、消耗品等)並びに児童の教育に要する費用	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 学校へ配分をしていた予算のうち、予算残高が不足すると、影響がでる費目については、学校教育課で一元管理としている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 生徒一人当たりにおける決算額	千円	14.7	14.2	13.7	13.6
イ 学校平均運営費	千円	1,965.0	1,910.0	1,815.0	1,787.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
各中学校の運営費(備品、消耗品等)並びに生徒の教育に要する費用	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	13,754	13,375	12,705	12,506
事業費計		千円	13,754	13,375	12,705	12,506

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	学校に必要な消耗品(管理・教材用)等が購入できている。
② 事業実施するうえでの課題	学校予算の配分方法について、検討が必要。学校経営という視点で考えると、一元管理を行っている光熱水費等については、学校でのコスト意識が薄く、増加傾向にある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	学校に係る予算を学校裁量制度(決裁権を含む)を導入し、学校長を中心とした学校組織で活用を図る。